

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 岡田美津子



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視 察 議 員	岡田美津子			
期 間	平成 30 年 4 月 12 日（木 ）～平成 30 年 4 月 13 日（金 ）			
視 察 先	全国市町村国際文化研究所			
視 察 用 務	観光をテーマとした、各分野で活躍の方々の講義研修（4 講義）			
視察先対応者				
概要及び所見	<p><u>【講義 1】豊岡市の観光戦略 講師 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治</u></p> <p>観光立国を目指す日本、この度の全国市町村国際文化研究会のテーマ「観光」に目を惹かれ受講致しました。</p> <p>現在 4 期目となる豊岡市の中貝市長は、豊岡市を「小さな世界都市」の実現と、コウノトリの野生復帰など環境を良くするための行動によって経済が活性化すると考え、「環境と経済の共鳴」として独自の施策を展開しておられ、それらのお話をお聞きすることが出来ました。</p> <p>その中で特に興味を持って聞いたのが「城崎国際アートセンター」です。</p> <p>豊かな自然と長い歴史を持つ城崎温泉の温泉街に位置する舞台芸術を中心とした滞在型の創造活動の拠点として、アーティストが城崎の街で暮らし、長期滞在出来るアートの拠点として 2014 年にオープンしました。</p> <p>海外からも多くのアーティストの利用があるとの事。世界から城崎へ、城崎から世界への政策の発想が素晴らしいと感じました。</p>			

【講義2】観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来

講師 日本インバウンド連合会理事長 中村 好明

中村先生のお話にも興味を持ってお聞きしました。

観光とはレジャーだけではない。「観光とは国境を越えて人々が活動する全てをいう」レジャー、プラス、ビジネス出張、プラス、友人親族訪問であったりする。インバウンドとは人・物・金・情報・全産業のベクトルの全てだと。そして、観光立国とは哲学立国であり「我が町を知る事」。再発見、よみがえらせ、磨き高め、広げそして稼げと。我が街三次市でも重要な事で、私達自身の暮らしのクオリティー、文化のクオリティーをあげる事が大切で、観光立国とは実は身近にある事なのだと思います。

【講義3】観光・地域振興のあり方を考える

～観光は地域を元気に出来るか～

講師 立教大学観光学部教授 東 徹

「観光まちづくり」という理念から観光のあるべき姿を考える講義で、とても興味深く聞きました。

「観光まちづくり」は観光集客を第一に考えた観光ではなく、人々が集い、触れ合う事で活気あふれるまちづくりを作る。地域の歴史や伝統を見直して、住民の満足・誇り・愛着を生み出す。「住んでよし・訪れてよし」から生まれるものだと。又、訪れる人との交流も大切で「人も観光資源」であると。

観光の原点を学んだ思いでした。

【講義4】京菓子老舗女将のとおきのお話

講師 笹屋伊織女将 京都観光おもてなし大使 田丸 みゆき

京都の上品さを感じる優しい語り方で、リラックスして聴ける講義でした。京都人のおもてなしの「感謝」・「心を残すお見送り」は私たちの日々の生活の中で心がけなくてはならない大切な事だと思います。

又、「おもてなしとは」①お役立ち・ケチにならない（情報のケチ）（能力のケチ）（ご縁のケチ）②お名前をお呼びする感じの良い電話③クレームにお応えする（処理でない）など、この講義もうっかり忘れがちな、人に接する基本を学びました。観光の発展には心が大切です！

充実した二日間の講義でした。受講してよかったです。